



田市土 第 50 号
平成19年 5月 7日

国土交通省道路局長 殿

田辺市長 真砂



中期的な計画の作成にあたっての意見の提出について

平素は、当地域の道路整備の推進につきまして、格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

ご依頼のありました、中期的な計画の作成にあたっての意見を下記のとおり提出いたしますので、よろしくお願いいたします。

記

1. 今後の道路政策や道路の整備・管理についての意見

○道路の整備について

都市圏の道路整備については、一定の成果をあげているものの、本市のような地方部においては、都市圏に比べ道路整備は大きく立ち遅れている状況にあります。

高齢化が進み、過疎化が深刻化する地方部では、道路整備の遅れから緊急車両の出動にも相当な時間がかかることや、近い将来に発生が懸念されている東海・東南海・南海地震や異常気象による災害時には集落の孤立を招くことにもなり、防災対策として道路を整備することにより、住民が安心して生活ができる、まさに「命の道」となりうるものであります。

また、道路整備は、周辺市町村を含む広域的なネットワークの構築と、地域経済の活性化や観光振興にも寄与することからも、地方部にとっては非常に重要な施策のひとつであります。

こうした厳しい環境にある地方部において、良好な生活環境の確保と安全かつ安心して住めるまちづくりを推進していく上で、道路整備は必要不可欠であり、真に必要な道路は、まだまだ沢山あり、極めて強い住民のニーズに応えるべく、地域の実情に即した、生活者重視の視点にたった道路整備の促進と財源確保を図るべきである。

○重点化を進める上で特に優先度の高い政策

①中心市街地活性化法に基づく政策。

②道路防災対策。

- 効率化を徹底的に進める上で重視すべきこと
 - ①都市計画道路網の見直しによる選択と集中を行う。
 - ②地域の実情に応じた幅員構成による、事業の効率化を図る。
- その他、道路政策や道路の整備・管理全般に関する意見
 - ①道路特定財源を堅持して他の予算への流用をしないこと。
 - ②近畿自動車道紀勢線の整備
 - 京阪都市圏との時間短縮と一般国道 42 号の渋滞解消を図る。
 - 産業や観光の振興と発展に寄与する。「自立の道」
 - 災害時の緊急輸送路や代替路の役割を果たす。「命の道」
 - ③一般国道 42 号田辺バイパス及び田辺西バイパスの事業推進
 - 生活基盤道路及び周辺地域との連絡道路の役割を果たす。
 - 物流の円滑化と効率化を図る。
 - ④その他
 - 現在、暫定 2 車線で供用開始されている近畿自動車道等について、週末、連休等の渋滞や対面交通による正面衝突事故が多発していることで、市民が不安視しているため、南進の 4 車線化を図られたい。